

H23年度・村上小学校体力向上に向けて

体力健康委員会

本年度の目標

①体力テストの数値の向

1学期の体力テストを分析し傾向をつかむ。全国平均に対し落ち込みの見られる種目は2学期に再度実施する。個別の伸びを認め、体力に対する自信を深める。

②望ましい生活習慣の育成

5月と1月に生活実態調査を実施し児童の生活習慣（食事・睡眠・歯磨き）について調査する。前年度や5月と1月との数値を比較し、検討する。

③運動意欲の向上

1学期末と2学期末に運動アンケートを行い、児童の運動意欲を調査する。体育の授業・休み時間・舞鶴タイム・体育行事について調査する。

達成目標

全国平均を超える種目
1学期→60%
2学期→70%

生活習慣の維持・向上
朝ご飯を食べる子 92%
10時までに寝る子 77%
1日3回歯磨きをする子68%

学校全体で運動に意欲的な子供の割合が90%を超える。

教育活動

①課題運動の設定

走力・柔軟・握力、及び落ち込みの見られる種目について課題運動を提案し、体育授業に取り入れる。

②舞鶴タイムの実施

2時間目終了後10分間を舞鶴タイムとし、全校児童で運動に取り組む。

①家庭への呼びかけ

8つの生活にチャレンジの取り組みに合わせて家庭へ呼びかける。PTAからも啓発を行う。

②食育指導・保健指導

学級活動等の時間に食育指導・保健指導を行う。

③強調期間の設定

歯みがきががんばろう旬間、朝食しっかり食べよう月間の実施。

①児童会行事の実施

体育委員会が〇〇大会等のスポーツ行事を実施する。大会だけでなく誰でもが参加できるよう工夫する。

②場の設定

日常的な遊びの場や運動したいと思える場の設定を行う。

H22年度（昨年度）の実態から

・H22年度の体力テストでは、上体起こし、握力、20mシャトルラン、50m走で県平均より数値が低い学年が多かった。県平均は全国でも上位に入るため、今年度は評価で全国平均と比較し、伸びが感じられるようにしていく。県平均とも比較は行う。
昨年県平均を超える種目53%
昨年全国平均を超える種目68%

・生活実態調査の結果から、子供たちの生活習慣はよい傾向である。
・生活習慣を改善させようとする家庭の意識においては家庭間で温度差がある。
・歯磨き等の指導の必要な子が多い。

朝ご飯を食べる子 90%
10時までに寝る子75%
1日3回歯を磨く子66%

・H22年度も村上小全体で運動に意欲的に取り組んでいると判断できる子は90%をこえている。
・体育館やグラウンドで元気に体を動かしている子が多い。児童会行事にも喜んで参加している子が多い。